



## フラット化する世界における「成功企業」の戦略を提示する

ウォール街金融崩壊に始まる世界経済の低迷。日本も例外ではない。昨年の秋頃は「日本はバブル回復の経験がある、大丈夫」などという「ヤワ」な意見も多く見られた。しかし、そもそも、この一

五年、GDPが増えていないOECD加盟国は日本だけだ。要するに借金ばかりが増え、成長していないのである。著者の石倉洋子さんは企業戦略エキスパートとして、日本の産業構造の硬直さと脆弱さを以前から指摘してきた。世界は急激に大きく変わった。フラット化する一つのグローバル

世界。人口増加、成長するアジア、地球資源と環境の限界。こうしたパラダイム変化に従来の大企業は対応できていない。

**本** 書では、何が変化したのか、何が必要なのかを分析し、指摘する。さらに成功している企業の共通要件を提示する。鎖国的マインドで思考停止しているとしか見えない多くの企業と、がんばっている企業の違いが鮮明に見えてくる。世界に散在する、しかし特異なニッチ。自分たちの強さと、そこから由来する独自性を生かさなければ

評者  
黒川 清  
政策研究大学院大学教授

ば、グローバル世界のニーズには対応できない。ベストではなく、ユニークさを生かす差別化の重要性。弱さを補う時間的余裕はない。実行のスピードも決め手となる。他にはない自分たちの特性を生かし、他に先んじてモノ・サービスを提供することが重要だ。

変化への対応の共通項を抽出し、問題の本質に迫ろうとした本書は、多くの企業人にとってきわめて示唆に富む課題と事例を提示している。キーワードは「ユニーク」「ORとAND」「オープン・システム」「グローバル・ニッチ」「グローバル・ローカル」だ。

本書を上梓するに当たっては、非常な苦勞があったことと思う。企業戦略の専門家だから、手持ちの材料は山ほどあるが、それをまとめるあいだにも世界はどんどん変化している。変化のスピードが速いのである。

読者の皆さんにお薦めの一冊だ。書かれていることが直感的かつ実感として理解できないようでは、そうとうな「重症」といえるかもしれない。

### 新刊 フラッシュ

衝撃！EUパワー

大前研一 著  
朝日新聞出版 一七〇〇円

五億人を擁する巨大市場のEUは人口、GDPで米国を上回り、世界一の経済圏となった。EUをはじめ各経済圏の現地調査を続ける著者が、日本復活のカギを握るEU市場の攻略法を伝授。

アクセンチュア流  
逆転のグローバル戦略

西村裕二 著  
英治出版 一八〇〇円

「多極化時代」の到来で、新興国市場とどう向き合うかが重要。市場創造力M&A力、ものづくり力、オペレーション力、経営管理力の再構築を説く。

鳩山首相、  
こうすれば日本は晴れる！

中原圭介 著  
扶桑社新書 七〇〇円

政権交代をきっかけに、日本の将来を明るくしてもらいたいものだ。年金、雇用、教育、環境などの難題は、シンブルな発想で解決できると主張する。

図書館は「コミュニティ創出の場」

小林麻実 著  
勉誠出版 二〇〇〇円

組織に頼らず生きる個人を対象に、徹底して知と空間を提供する有料図書館は年間利用料一〇万円。型破りのアカデミーヒルズ六本木ライブラリーの生みの親がコンセプトと舞台裏を明かす。

\*本の価格はすべて本体価格です。